



卒業式・修了式を終えて（3月15日）

Contents

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 02 新入生へのメッセージ | 09 サークル紹介（吹奏楽部）／リレーエッセイ（樋原海里） |
| 03 FD見聞録① | 10 2017年度卒業式・修了式 |
| 04 2018年度赴任教員・新入職員 | 12 卒業生・修了生特別表彰者 |
| 06 2017年度退任教員メッセージ | 15 2017年度各種奨学金・寄附金 |
| 08 研究のひろば（宮城公子）／わがゼミナール（崔珉寧） | 16 創立60周年記念同窓生寄贈学生歌・募金活動状況 |

優しい妻だがときには怒る、「また窓開けっぱなしにして」。戸締りのトガ加わった。妻が愚痴をこぼしている、「またテレビ消さないで」。電気の「デガ加わった。補聴器を買った。ミミが加わった。今では必須10アイティムだ。メガネ、戸締り、名刺、補聴器、財布、携帯、手帳、キー、電気、資料。玄関を出るとき、学長室に鍵をかけるとき、呪文を唱える。メトメミミサケテキデシ。今忘れ物は人並みに近くなつた（たぶん）。自分の経験だから確信を持つて言える。能力の不足は工夫で補うことが出来ると。

もちろん注意するが、注意しても忘れるし、慌てるし、注意すること自体を忘れる。一人前の社会人としてこれではいかんと、忘れ物対策を考えた。ある大物女優は、大切なものは二つ作るという。「瞬惹かれたが、実践は即座に諦めた。私に向いていない。手帳を二つ、財布を二つ作ると混乱の度合いを増すだけだ。ある有名作家は、「忘れな盆」を玄関に置いているという。持ち物は、その盆の上を定位置とし、外出から帰ると全てそこに置き出かけるときはそこから取る。これは良さそうだと、実践した。三日であきらめた。手帳が、メガネが、ケータイが一晩中盆の上にあるわけではない。新聞を読むのに眼鏡をとり出し、日程調整の電話があると手帳を動かし、定位置に戻さない。翌日忘れ物が増えたのだ。

管理職になつた。1週間で17回会議が入つたこともある。「手帳を忘れた」ではどうにもならない。なんとかせんと、と考えた。原点に戻り、出かけるとき注意する以外ない、具体的に一つ二つ注意しよう。必携アイテムはメガネ、財布、ケータイ、手帳、キーの5つである。ハンカチはごまかせる。必携アイテムの頭文字を並べ、メサケテキ「メツ！酒敵」と掛け声をかけることにした。忘れ物は激減した。

学長コラム ⑪

忘れ物対策

仲地 博

新入生へのメッセージ



新入生へのことば

大学院現代沖縄研究科長
小西 吉呂

皆さん、ご入学おめでとうございます。
「広学博覧は、かなふべからざる事也。一
向に思ひ切て留まるべし」。道元の言葉です。
大学院の二年間は、あつという間に過ぎてしま
ります。この言葉を銘記して研究に精進してく
ださい。わたしたちスタッフ一同も、万
全の準備を整えて支援する所存です。
互いの信頼関係を基礎にしながら、皆さん
が充実した研究生活を送られるように願つ
ています。



未来へ向けて 明るく頑張りましょう

人文学部長
王 志英

ご入学おめでとうございます。皆さんは人生
の中で大きく一步を踏み出しました。
大学は社会人になる前の訓練の場でもあります。
ここで知識や知恵を得ながら自分自身を鍛
え、社会に通用する人間、役に立つ人間になつ
ていくのです。四年間には苦しみも楽しみもあ
るかと思いますが、目標を持つて勇ましく頑張
り、強い精神力で自分自身や誘惑、怠惰に負け
ず、知恵、情熱、忍耐力をもつて、明るい未来
を開いてください。大学四年間は、自分の人生
を左右する期間でもあります。悔いが残らない
ように楽しく、明るく頑張りましょう。



一生学び続けるための 土台をつくろう!

法経学部長
小野 啓子

ご入学おめでとうございます。
少子高齢化による人口の減少、新興国の成長、
グローバル化の進行、AIの台頭など、日本を
取り巻く状況は大きく変化しています。変化の
多い時代を生き抜き、男女とも経済的に自立し、
学び続け、個々のキャリアを築いていくために必
要な基礎的な力を、これから約4年間でしつ
かり身につけてほしいと思っています。大学時
代にいろんなチャレンジをし、経験を増やし、
社会に出るための準備をしてください。私たち
もしっかりと応援していきます。



心から薦めること

人文学部 国際コミュニケーション学科長
宮城 公子

皆さん、ご入学おめでとうございます。
一体大学で何を学び、何
ができるようになるのか、
期待や不安があるでしょう。
4年間は長いようで短く、
多分いそがしい。字数もな
ので私が一つだけ心から
薦めること。本を読んで。
スマホでもいいけど、と
にかく図書館へ行ってみて。
ゲームやユーチューブの時
間を少しだけ本に。できれ
ば毎日いろいろな言葉を吸
いこんで自分のものにして
ほしい。自分を伝える人の言
葉を受けとめ、そして大人
たちの虚偽の言葉にだまされ
ないためにも。



法経学科新入生のみなさんへ

法経学部 法経学科長
川崎 和治

新入生のみなさん、入
学おめでとうございます。
これから始まる大学生
生活をおおして、自ら立ち、
自ら歩いていくために必
要な力を身につけてください。
これから受講する
各々の講義が、その力の
源になつていくと確信し
ています。
みなさんが、大学生活
の中で、多くの出会いに
恵まれるよう祈っています。
隣の見知らぬ人が、生
涯大切な人になるかもし
れません。
瞬間に全力で過ごして
ください。



こども文化学科 第12期生の みなさんへ

人文学部 こども文化学科長
喜屋武 政勝

こども文化学科新入生
のみなさん、ご入学おめ
でとうございます。「小学
校の先生になりたい」と
いう具体的な夢を抱いて
いるのか、どのような問
題や課題と向き合ってい
るのか、未来の教育者と
してのみなさんがどのような
うに彼らとかかわってい
かなければならぬのか、
4年間、共に学んでいき
ましょう。



挫折も成功も味わう

人文学部 福祉文化学科長
名城 健二

新入生のみなさま、ご入
学おめでとうございます。
今日という日を迎え、
胸が高鳴り、期待と不安
が入り混じっていること
でしょう。大学生生活は、人
生の中で自分を大きく成
長させる貴重な時間です。
どうぞ、この期間に挫折
も成功も味わってください。
みんなの周りには、教職員、先輩、仲間たちが
います。悩みは一人より
も仲間と共有することで、
プラスに転化できます。
グローバルな視点で学
びを深め、一人一人が大き
く成長することを期待
しています。

FD見聞録①(不定期連載)

FDとはなにか

—フロッピーディスクはどうへ消えた?—



法経学部法経学科

岩垣 真人

一昔前、外部記憶メディアの王様はフロッピーディスク(FD)だった。FDは1・44メガバイトと容量が少ないので、ソフトウェアのインストール時などは、何枚も何枚も交換する羽目になった。32ギガバイトのUSBメモリが千円程度で手に入る現在から振り返ると、少し信じられない気分になる。今の学生がなぜHDDがCドライブなのか、わからないのもむべなるかな、である。

大学でもフロッピーは消えたが、別のFDが登場し、注目を集めている。近年注目されるこの「新」FDは、ファカルティ・ディベロップメント(Faculty Development)のことを指し、簡単に言つてしまえば、大学の授業改善のため、大学全体で組織的に取り組んでいくこと、を意味している。

なぜ今、大学でFDが注目されているのかといえば、それは、大学という機関の「意味」が変化したからに他ならない。フロッピーと同じく大学も、一昔前は「すこかづいた」。20世紀最大の法理論家ケルゼン(というよりは、あのドラッカーの叔父といった方がイメージしてもらいたい)はどううか)の研究者として名高い長尾龍一は、得意の毒舌を振るい、『法哲学入門』の中で、「大学教授には検定教科書も学習指導要領もなく、得意なところだけをしゃべって

いればよい」ため、「三日やつてやめられなくなるものといえども、もっぱら大学教授である」なんて書いていた。

大学が研究のことだけを考えていればいい時代は、大学進学率の上昇とともに、大学が教育機関として捉え直されることによつて、終わりを告げた。私たち教員も、従つて、学生に「役に立つ」教育を行う必要が生じてくる。そんな問題意識を抱いていた昨年の12月、まさしく「大学教育は”役に立つ”のか」とテーマを設定した研究課題集会があり、参加する機会を得た。これは、大学教育学会といふ全国規模の学会が毎年行う研究課題集会であり、参加人数も多く、熱気がある会合からは学べることも非常に多かつた。

そのうちでも特に、労働政策研究・研修機構の小杉礼子氏の基調講演は、これから時代と大学との関係を考えるにあたり、大変有益なものであった。小杉氏は、A-I導入という「第四次労働革命」により生じうる変化を語る。A-Iの導入により、一般事務職は代替される可能性が高く、その職を希望することの多い女子大学生の就職状況は大きく変化す

るという。もちろん、男子学生も、その影響で志望先を変化させる女子学生と競争することになるため、座視していることはできない。AI時代に合致した、AIを「動かす」ための教育、特にSTEM(Science, Technology, Engineering and Mathematics)教育の拡充がこれからの大には求められるという。

研究課題集会での学びは、学生を指導するにあたり、特に、学生に進路を考えせる指導に際して、大変有益なものとなつた。だが、私が毎年教える、例えば行政法が、学生にとって「より役に立つ」ためにどうすればよいのか、その答えは得られなかつた。答えを求めるためには、さしあたつては、日々の大学の講義において、実践を重ねていくしかないのだろう。

そうした考え方の下、個人的に、ちよこちよこと、授業見学を行つてゐる。特に同僚の矢島先生とは、時折お互いの講義を見学し、あるいは、力ある授業の創造」を掲げ、学生が主体的に学び学習する魅力的な授業づくりとカリキュラムの改善に特に力を入れて取り組んでいます。どういった講義であればもつと学生の「役に立つ」のか、議論することも多い。今年度からは、その範囲を広げ、より多くの人と充実した意

見交換を行いたいと思つてゐる。さらに、それが組織化され、例えば学部の法律行政コース全体で制度化できたりすれば、有益なFD期にある。私も、学生のために、頑張らなくては。もうから出てきた、フロッピーディスクは、奥から出てきた、FDが懐かしくもあるのだけれど。

教員・新入職員 の大学へ」向けて～

本学の法経学部で、今年度より、会計学分野の授業を担当することとなつた。会計は「ビジネスの共通言語」と呼ばれることがある。会計学を学ぶことで、世界各国の会社の状況を理解することができる。投資者や債権者はもちろん、会社の従業員にとっても、役に立つ学問であるといえる。

私は、大学生時代に会計学を専攻し、大学院からは、中小企業の会計を中心と研究を行つてきた。中小企業は、企業総数の9割以上を占め、産業の基盤として、地域の経済を支える存在となつてきている。近年、国民経済全体を活性化するために、中小企業会計の基盤強化を通じて企業活動の活性化を図ることが必要であると認識されるようになつてきた。沖縄の地域経済の発展においても、このような研究は必要であると思う。

本学では、会計学に関する研究活動に努めるとともに、その知識や経験をより多く還元できるよう、学生への教育活動に尽力したい。そして、沖縄の地域経済に貢献できる人材を、一人でも多く育てていきたい。



朱 恒雲
法経学科教員
(財務会計)

「ビジネスの共通言語」と
呼ばれる会計学を学ぼう

「お金儲け+アルファ」の
経営学



石川 公彦

法経学科教員
(経営組織論 人的資源
管理論)

地域共創で教育を創る

当事者や地域から学ぶ
社会福祉



黒木 義成

国際コミュニケーション学科教員
(特別活動 教職実習指導)

当事者や地域から学ぶ
社会福祉



加藤 慶

福祉文化学科教員
(相談援助実習指導)

私はこれまで、企業やその他の組織において、人と人が取り結ぶ関係性や継続性を分析し、それらが有する意味や価値を研究してきた。それはお金儲けの技術を直接的に追究するものではない。

お金儲けの技術は、日々、営利企業の現場で開発され、試みられ、磨かれていくが、それ以外の技術は副次的なものとされ、ともすると忘れられる傾向にある。一方、大学はお金儲け以外の「意味」を第一にすくい上げ、その「価値」を示せる数少ない研究機関のひとつである。それゆえ、大学人としての私は、単なるお金儲けにとどまらない意味や価値にもこだわって、人ととの関係性や継続性を取り組んでいる。

そして、この私の研究視点は、本学が掲げる「地域共創・未来共創の大学」のコンセプトに通じている。なりふり構わぬ、むき出しのお金儲けは、結果的に「地域」を破壊し、未来を危うくする。「地域共創・未来共創」のためには、「お金儲け+アルファ」の「+アルファ」を忘れてはならない。地域に根ざし、共に未来を創るために、研究と実践を通じて、ささやかながら尽力して参りたい。

私は、研究分野として、生徒が学校生活の中で自己存在感を実感し、多様な人々と生活する中で、自分の良さや可能性を發揮できるような資質・能力の育成について、特別活動の分野から実践研究を深めていきたい。

これから皆さんが「教師になりたい」という気持ちと、将来、教壇に立った時、「教師になって本当によかった」と実感できるようになることを自己目標に掲げてもらいたい。

私は社会福祉士・精神保健福祉士であり、専門は相談援助方法論・社会福祉教育である。近年は疾病予防・健康増進そして性的マイノリティの方々に関する研究を行っている。問題意識は、既存の社会制度が対応しきれていない地域の福祉ニーズや社会的周辺に置かれる方々に対する社会福祉専門職としていかに援助実践が行えるのか、そして、当事者主体の社会サービス提供機関と専門職のあり方である。私は東京出身だが、社会福祉専門職としてスタートしたのは縁あって沖縄であった。当時、那覇市を中心に、性的マイノリティの当事者の方たちとともに、制度外の社会サービス提供やコミュニティセンターの設置・運営、相談援助実践を行つた。問題意識の土台を作っているのは、沖縄で暮らしている多くの当事者の方たちや地域や行政・医療機関の方々からの学びである。今日では、「レインボーナハ宣言」「レインボーノ都市うらそえ宣言」や同性パートナーシップ制度など、沖縄には全国に先駆けた性の多様性尊重の取り組みがある。当事者や地域の想いを大切に、教育・研究を行つてまいりたい。

2018年度 赴任 ～「地域共創・未来共創

沖縄で子どもたちの福祉や
貧困問題を考える



福祉文化学科教員
(児童福祉)
山野 良一

私は、神奈川県の児童相談所で長く勤務をしてきた。家庭内で虐待やネグレクトを受け、また家庭の事情で親御さんと離れて生活をしなければならなくなつた子どもたちと、一時保護所というところで、食事を一緒に摂り、お風呂と一緒に入り、いっぱいの遊びと一緒に夢中になつて生活を共にしてきた。また、児童福祉司として、貧困や虐待などさまざまな課題を抱えているご家庭を支援するために家庭訪問などを繰り返し、親御さんのお話を伺つてきた。

そうした経験から、現在では子どもや虐待問題に興味を持ち、それに関する調査や研究を積み重ねている。特に、2年ほど前からは沖縄県が管轄する沖縄子ども調査に数人の研究者と関わり、マスコミに向けても報告等を行つてきた。今後は、沖縄の地域のみなさん、学生のみなさんとも情報を共有し、調査への関わりという糸口から、さらに沖縄全体の子どもの福祉のあり方を考えるという広い視座を持ち、子どもや親御さんが生きやすい社会を考えていきたいと思っている。

自己紹介と今後の抱負

人材育成を通した地域貢献

学生の皆さん共に
頑張りましょう



福祉文化学科教員
(健康スポーツ科学)
久米 大祐

御縁あつて、本年度より沖縄大学で教鞭を取らせて頂くことになった。そして、本広報誌へ寄稿させて頂くことになったが、困ったことに私は文章を書くのが苦手だ。以下駄文となることをご容赦頂きたい。

【自己紹介】

徳島県立名西高校出身。2012年に

川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科健康科学専攻博士後期課程を修了し、博士(健康科学)を取得。沖縄工業高等専門学校総合学科講師を経て、現在に至る。専門分野は、運動生理学・応用生理学。沖縄県内産官学連携のシマグワに関する研究プロジェクトにも参画中。趣味は、ランニングとSUP(願望)。

【今後の抱負】

「大学での勉強は、真剣に取り組めば、とても楽しい」ということを学生に伝えたい。自分自身が大学生の頃、先生がそうしてくれたように、地域に根ざす沖縄大学では、前述の産官学連携プロジェクトを始め、地域貢献型研究に力を入れていきたい。研究活動には学生を巻き込み、実践教育の場となるようにしたい。沖縄大学の更なる発展に少しでも貢献できれば幸いである。



福祉文化学科教員
(教育学、児童英語学)
上原 周子

私は長く小学校に勤務し子ども達の成長に携わってきた。子ども達の人生の基礎を築くという大きな責任を感じながら、多くのやりがいも感じてきた。また、小学校外国語教育の導入時から実践を通して研究を深め、その成果を実感したくさんの先生方と一緒に学び、多くの学校への指導にも携わってきた。

教育行政や学校現場においては、初任者研修の指導や教職員の授業改善・学級経営への指導助言など、教職員の資質向上にも力を注いできた。その経験を活かし、地域に根ざした沖縄大学で、沖縄の未来を支えていく若者の成長に関わり、学生達の社会人としての一歩を踏み出す前の貴重な「学び」の時間に力を尽くし地域に貢献していただきたい。このような教育・研究の機会をこなしたび頃いたことに大変感謝している。

さらに、創立60周年を迎える節目の年に、沖縄大学に専任教員として赴任できることが心より光榮に、幸せに思う。現在活躍されている先生方、職員の方と一緒にになって、私の知識と経験、情熱のすべてを大学における教育と研究に尽くしていきたい。たくさんの方々との出会いを心待ちにしております。

一人一人との繋がりを
大切に!



新入職員
仲村 佑介

沖縄高専専攻科を修了した仲村佑介です。高専在学中は泡盛に関する研究をしていました。が、「教育現場で働きたい!学生とコミュニケーションを取りたい!学校運営に貢献したい!」という思いから、2018年4月、沖縄大学職員として働くことになりました。学生・教職員一人一人との繋がりを大切にしたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いします!



新入職員
玉城 祥梧

今年度より専任職員として入職致しました。玉城祥梧です。沖縄大学の卒業生です。「後輩達の夢を応援したい」気持ちで、職員として沖大へ戻つてきました。

沖大は、とてもアットホームな大学です。私も沖大と共に、「地域共創・未来共創」をモットーに、成長しながら、学生の「夢実現」の為にサポートできるよう頑張ります。よろしくお願いします。

2017年度 退任教員メッセージ

退職に当たつて

定年退職に際し

沖縄永住を決意させた沖縄大学



法経学科

奥山 正剛



法経学科

新城 将孝



福祉文化学科

富樫 八郎

沖大に着任したのが1980年、その後一時他大学に移るも、1993年に出て戻ってきて現在まで20数年。通算すると30年を超えて勤めさせてもらつた。このたび無事に退職を迎えることができた。この間、研究に専念させてもらえた時期もあり、論文もある程度書くこともできた。また、いくつか役職を任せられ、大きな問題も起こすことなく終えることができた。

こうして無事に終えることができたのは、学内の周りの皆さんのが支えと助けがあつたからこそと、感謝している。皆さんの助けがなければこんなに長くやつて来られるはずはないのであって、いくら感謝してもし過ぎることはないと思っている。本当にありがとうございました。

沖大に着任したのが1980年、その後一時他大学に移るも、1993年に出て戻ってきて現在まで20数年。通算すると30年を超えて勤めさせてもらつた。このたび無事に退職を迎えることができた。この間、研究に専念させてもらえた時期もあり、論文もある程度書くこともできた。また、いくつか役職を任せられ、大きな問題も起こすことなく終えることができた。

入学の時点は民主化闘争のなごり（余波の中、あつという間の存続闘争への流れとなつた）。日本復帰は沖縄大学をも飲み込むが、その余波は自身の学位（法学士）にも法的疑惑をもたらしたりと、沖縄大学の歴史を身をもつて感じてきた。

今、わが母校、沖縄大学をみるに、日本復帰時における存続闘争の理念を立派に継承している。

今、わが母校、沖縄大学をみるに、日本復

帰時における存続闘争の理念を立派に継承している。

卒業する。日本復帰前の1971年に法経学部法学科に入学し、学部在籍4年、その後（大学院修了後）の非常勤講師としての勤務8年、専任教員としての勤務33年である。

沖大に着任したのが1980年、その後一時他大学に移るも、1993年に出て戻ってきて現在まで20数年。通算すると30年を超えて勤めさせてもらつた。このたび無事に退職を迎えることができた。この間、研究に専念させてもらえた時期もあり、論文もある程度書くこともできた。また、いくつか役職を任せられ、大きな問題も起こすことなく終えることができた。

沖大に着任したのが1980年、その後一時他大学に移るも、1993年に出て戻ってきて現在まで20数年。通算すると30年を超えて勤めさせてもらつた。このたび無事に退職を迎えることができた。この間、研究に専念させてもらえた時期もあり、論文もある程度書くこともできた。また、いくつか役職を任せられ、大きな問題も起こすことなく終えることができた。

「地域に根ざし 地域に学ぶ 地域の大学」としてさらには飛躍することを祈念して止まない。この間で、100年大学、いや200年大学の基盤はつくられたと理解している。

本学の創設者、嘉数昇先生は戦後沖縄における私学創設の動機と目的に、以下の三本柱を示している。①教育の機会均等、②日本人教育を!、③人間開発を沖縄発展の土台石！（嘉数昇『沖縄の私学と振興』凸版印刷株式会社 昭和42年）。

私の人生、埼玉県の病院でのソーシャルワーク実践24年。ソーシャルワーク教育16年。そして、これらの人生は、暮らしやすい沖縄にするためのソーシャルワーク実践である。沖縄大学は、私は沖縄永住を決意させた。ユンヂチの昨年8月、私は糸満に墓石を求めた。

退職にあたって「感謝」



福祉文化学科

砂川 恵子

退職にあたりこれまで振り返ってみた時、私の人生の大半を沖縄大学で過ごした日々だったことに気付かされました。現役で法経学部に入学してから、社会人を経て福祉文化学科の編入生として、福祉文化学科の教員として現在まで12年間という長い時間を過ごしていました。

私にとっての沖縄大学は、学生の頃は多くの個性的で熱心な指導をして下さる先生方や現在も交流が続く仲間との出会いに繋がり多くの学びを得る場所でした。

法経学部の頃に卒業論文を指導して下さった興那原建先生、福祉文化学科では金城一雄先生との出会いを通して、学ぶことの面白さや難しさ、厳しさを教えて頂きました。特に金城先生には大学院進学に向け、厳しい論文指導をして頂けたことで自分の問題意識を明確にすることことができました。自身で物事を深く掘り下げて考えること、自身の考えを他者に伝えていくべきなのかということを指導して下さいました。

福祉文化学科の教員としては、未熟な私でしたが学科の先生方に支えられ何とかこれまで続けてこられたように思います。

学生のみなさんは主に相談援助実習を通して、互いに夏の実習期間で密に関わりを持ちながら、一緒に泣いたり、迷ったり、笑ったりを繰り返しながら年間を過ごしてきたように思います。学生の成長する過程を身近に感じながら共に過ごし成長する機会を与えて頂いた沖縄大学の皆様に感謝申し上げます。

学び続ける学生を育てる
大學

国際コミュニケーション学科

上地 幸市

私は、公立小・中学校や琉球大学附属中学校における37年間の教職生活を終えた2012年4月に、縁あって沖縄大学国際コミュニケーション学科の特任教授に採用され、主に教師を目指す学生の指導に当たつてきました。

当時から現在まで続く教員の大量退職・大量採用の状況の中、学校教育における人材育成は喫緊の課題と言えます。特に、若手教員にとって、先輩教師にもまれながら身につけることができた指導法や児童生徒との関わり方等を学ぶ機会が減少しております。

これから教職を目指す学生にとって、学習指導要領の改訂や道徳の教科化、小学校への英語教育の導入等、大きな変革の波に立ち向かつていかなければならぬ状況にあります。そこで、本学では、学校現場をつぶさに見て、感じ、体験し、児童生徒や教職員との関わりを通して感動体験を味わい、「教師になりたい」という強い意志を持つ教師の卵を育てることを目指して、教職インターナンシップ等の実習系科目に力を入れてきました。教職を目指す学生たちが、大学での学びを糧にして、弱音を吐かず、挫けず、粘り強く課題に立ち向かう強い心と体、やり抜く力をもち、学校現場で活躍することを期待しています。

世界と未来への架け橋
From here to the world

国際コミュニケーション学科

デイリーピー
チャンドラ・ラール

『白旗の少女』を読んでから、私は戦争と平和、そして命について考える場として沖縄に興味をもっていた。沖縄大学を勤務先として選んだ一つの大きな理由は、文化・民族・政治の面で沖縄と本土との間にある溝と似たような問題がスリランカにもあるので、その事例研究にもなる力にもあるので、その事例研究にもなると思ったからである。

1998年に沖縄大学に採用されてから、英語、言語コミュニケーションと国際交流などを教えてきました。そこで学生が出席カードに書くコメントを読むのは一つの楽しみでもあった。「出前講座」を通して、学外の教育現場とのつながりをもち、役に立たせてもらうことができてよかったです。

大学の国際交流事業を管轄する傍ら、学外のさまざまな国際交流活動にも携わってきた。「アジア青年の家」、「アジアの架け橋 沖縄スリランカプロジェクト」、「命と平和」を未来へ、「スリランカ力の水プロジェクト」などがその一部である。国際交流といつても地域に根ざした活動でないと持続可能ではない。「自分」と「地域」と「国際」をつなげて照らし合わせる交流をこれからも続けたい。

沖大を退職するに当たって



JAM文化学科

川井 勇

私は沖縄の日本復帰の頃、東京で大学生活を送っていた。復帰の前年、初めて沖縄を旅したが、船便で購読していた「沖縄タイムス」や「琉球新報」で伝えられる沖縄の小さな大学に強い関心を持つようになった。初めて沖大を訪ねたのは復帰直後の存続闘争のさなかであった。当時職員労組委員長の金城正弘さん(前同窓会長)に話を聞き、分厚い資料集をいたしました。今も私の書架にある大事な資料だ。

1999年4月に教職課程担当の教員として採用された。1988年2月の集中講義から非常勤講師をやっていたので、非常勤講師認定の事前訪問で文科省へ行つたり、右も左もわからない状態で滑り出した教職教員生活だったが、何とか19年仕事を続けてくることが出来た。

人生にとって大事なのは「出会い」である。教職員、学生に支えられて、充実した教員生活を送ることが出来た。学生時代の私にとって、多くの難関に直面し、乗り越えながら生きる沖大はいわばあこがれの大学だった。その沖大で仕事が出来て幸せであった。沖大に関わる全ての皆さんに感謝し、沖大の今後の発展を祈りたい。

多くの大学の先生方とは違つて、私は研究の専門分野ではだいぶ寄り道をした方だと思います。学部四年間は日本文学科で主に近代文学をやり、卒論で加藤周一といふ医者から物書きになつて日本内外の文化や思想、言語の多岐にわたる表現者となつた人を取り上げたため、比較文学というこれも日本や外国の文化研究なら何でもありの分野に進むよう言われ、せつかくそなつたの修士論文では明治時代にできた「日本文学史」なるものの展開と背景を追い、その後数年研究などといふものからは遠ざかり、それでも米国に県費で行けることとなり、せつかく英語と異文化漬けになつたのに、

論文では、日本の古代に深く思いを寄せ沖縄の文化の古層にも関心を寄せた折口信夫という人に捕まり、同時に米国の大学院で女子学生、という立場から避けて通れないフェミニズムやジェンダー研究にも洗礼を受けました。そして二十年近く居住もせず、対峙も避けてきた沖縄の基地問題に前

研究のひろば



私の研究

国際コミュニケーション学科教員

宮城 公子

任校の名桜大学で直面し、辺野古にについての市民運動の発端からお付き合いをさせてもらうなか、沖縄の近現代文学の射程にも遅まきながら眼を開かれ研究しています。主な研究対象はやはり沖縄に来てその現実とわが身をからませながら、沖縄やアジアなどの文学におけるジェンダー的諸問題でしますか。去年は琉球大学で、沖縄の近現代女性史における問題について発表しました。また韓国・済州島の平和学会で、沖縄の戦後におけるジェンダー問題と私の担当科目は少し何でも屋さんので、他の先生方のように深く純粹に光ってはいないようです。日本文学も英語（教職指導も含め）も担当しています。ゼミのテーマはジェンダーに関わることなら何でも、ですが少なくない数の男女学生が関心を持ってくれます。それだけ「性」に関わる問題が社会に多くあるということでもあるでしょう。興味のある方はいつでも研究室までどうぞ。

ですから、本学での私の担当科目は少し何でも屋さんので、他の先生方のように深く純粹に光ってはいないようです。日本文学も英語（教職指導も含め）も担当しています。ゼミのテーマはジェンダーに関わることなら何でも、ですが少なくない数の男女学生が関心を持ってくれます。それだけ「性」に関わる問題が社会に多くあるということでもあるでしょう。興味のある方はいつでも研究室までどうぞ。

多くの大学の先生方とは違つて、私は研究の専門分野ではだいぶ寄り道をした方だと思います。学部四年間は日本文学科で主に近代文学をやり、卒論で加藤周一といふ医者から物書きになつて日本内外の文化や思想、言語の多岐にわたる表現者となつた人を取り上げたため、比較文学というこれも日本や外国の文化研究なら何でもありの分野に進むよう言われ、せつかくそなつたの修士論文では明治時代にできた「日本文学史」なるものの展開と背景を追い、その後数年研究などといふものからは遠ざかり、それでも米国に県費で行けることとなり、せつかく英語と異文化漬けになつたのに、

論文では、日本の古代に深く思いを寄せ沖縄の文化の古層にも関心を寄せた折口信夫という人に捕まり、同時に米国の大学院で女子学生、という立場から避けて通れないフェミニズムやジェンダー研究にも洗礼を受けました。そして二十年近く居住もせず、対峙も避けてきた沖縄の基地問題に前

いかと思いました。したがつて、「高慢と偏見」、「白夜行」、「話をする男」、地図が読めない女から、もちろんのことながら、経営学の『経営戦略全史』、『ストーリーとしての競争戦略』、『ブルー・オーシャン戦略』までどんどん読書量を増やすゼミを目指しています。

最初のゼミのオリエンテーションではいつも「我々は大事なことはせず、ただ雑談を楽しむくらいです」と説明しています。人間の多くはアウトプットを通じて学ぶようになっていました。書いて学ぶ、しゃべって学ぶことです。したがって、一方的な一般講義ではなく、ゼミで積極的にやろうとしています。読書量と新たに知ったことが増えると、自然とおしゃべりがしたくなるのです。

ゼミで積極的にやろうとしていることは、これまでの読書量と新たに知ったことが増えると、自然とおしゃべりがしたくなるのです。ゼミ指導をしながら得た、ぜひみんなが身につけて卒業してほしいこのゼミのリバーラルアーツです。

いかと思いました。したがつて、「高慢と偏見」、「白夜行」、「話をする男」、地図が読めない女から、もちろんのことながら、経営学の『経営戦略全史』、『ストーリーとしての競争戦略』、『ブルー・オーシャン戦略』までどんどん読書量を増やすゼミを目指しています。

わがゼミナール

読みまくり、しゃべりまくる

法経学科教員（経営戦略論）

崔 琢寧



研究室にて(右から5人目、筆者)

知つていることが増え、冗長的にしゃべれるようになると、物事を立体的に考える知的な遊びに移ります。直感に反する世界の中の出来事をじっくり考え、それぞれの答えを各自が導出してみる作業です。例えば、なぜ遅刻する人が増えるのかについて深く悩んでみます。直感に反する物事に対してそれが三つの解釈を考えると、意外と多くのが新しい発想が生まれてきます。毎日一つの新しい問い合わせがあります。毎日一つの新しい問い合わせをもつことがこのゼミの課題の一つです。

サークル紹介

大学で友達作りたい人、吹奏楽部で楽しみませんか！

吹奏楽部



沖縄大学吹奏楽部は、2009年4月に設立し、今年で10年目になります。これまで、オーブンキャンパスや同窓会懇親会等、学内での演奏を中心に活動していましたが、沖縄県吹奏楽ソロコンテストにも出演し、数々の成績を残してきました。2015年のアンサンブルコンテストでは、打楽器五重奏で出

演し、初めて金賞を受賞しました。

学内での演奏やコンテストに出演するだけではなく、特別養護老人ホームへの慰問演奏、医療施設の新年会等、学外からの演奏依頼にも参加しました。メンバーは、中学・高校で活動していた部員もいますが、「大学に入学して始めた」という部員もいます。練習している場所は、2号館地下にある音楽室です。

週に3日間、個人練習と基礎合奏を行います。それ以外の日でも、講義の合間や講義が終わつた後に個人で練習している部員もいます。

現在、部員は5名ですが、卒業した先輩達も活動に参加してくれています。

今年の6月に行われる沖縄大

学創立60周年の記念祝賀会で演奏する予定です。この機会に、「楽器を吹いてみたい」「音楽を初めてみたい」という人、それだけではなく、「沖縄大学で友達を作りたい」という人は、私たちに声をかけてみてください。大学でのイベントに参加するだけではなく、県内他大学の吹奏楽部との交流もあり、仲間が増えます。一緒に楽しみましょう！

みなさんが大学生活を楽しく過ごせるよう、私たちは応援します。一緒に楽しみましょう！

リレーエッセイ
第12回

教務課
海里

樋原

楽しさなきや損！

「君たちは大学の授業、1

コマの値段を計算したこと

があるか？」1コマ約3千円

だ。君たちのバイトの時給

はいくらだ？授業を寝たり、

サボったりするということ

は毎回3千円をムダに使う

ことになる」私が沖縄大学

に入学した年、新入生オリ

エンテーションで教員の1

人それぞれ、何を求めて

大学に通うか異なると思いま

すか？3号館からは首里の

景色や慶良間諸島へ続く海

アネックストから国場や津

嘉山の景色が一望できます。

アネックストでは窓際にカウ

ンターテーブルもあり、コー

ヒーを飲みながら景色を楽しめます。授業の合間に一

度訪れてみてはいかが？才

ススマレ沖大ポイントその2、

二度受講するとトゥエンフ

ルエンザに感染!?」他大学

でもファンが多い那須泉（那

ん。眞面目に授業を受けようが、居眠りをしようが、スマホを触ろうが。全ての授業が将来役に立つ訳ではないし、全ての授業が受講生の興味をそそる内容ではないかもしれません。しかし、

1コマ3千円、高い授業料は変わりません。どうせ払うなら大学生活楽しむないと損だと思います。

もし今、大学が楽しくない、授業も興味がそそられない、と思っている学生さんがいるなら少し授業、単位の事を忘れて大学を楽しんでみませんか？

ここで、筆者がオススメする沖大ポイントその1、「意外と知られていない、隠れた絶景ポイント！」3号館屋上、アネックスト2階フロアから景色を見たことがあります。3号館からは首里の景色や慶良間諸島へ続く海、アネックストからは国場や津嘉山の景色が一望できます。

アネックストでは窓際にカウンターテーブルもあり、コーヒーやお酒を飲みながら景色を楽しめます。授業の合間に一度訪れてみてはいかが？才ススマレ沖大ポイントその2、二度受講するとトゥエンフルエンザに感染!?」他大学でもファンが多い那須泉（那

須トゥエン）先生が開講する「ベトナム語」という授業があります。「この時間は授業ではなくライブだ！俺について来い！」と叫ぶ那須先生。この時点で普通の語学の授業ではないと判るはず。先生にお願いして一度だけでも聴講してみてはいかがでしょうか？一度受講すると、トゥエンフルエンザ感染は免れません。

他にもオススメポイントはありますが、残りは是非ご自身で探してみてください。大学生という素晴らしい4年間は人生一度限り。樂しまないと損ですよ。

次回は経理課の金城敬さんです。





3月15日、2017年度卒業式・修了式が沖縄大學体育館で挙行されました。法経学部・人文学部を卒業し学士の学位を得た381名 大学院現代沖縄研究科を修了し修士の学位を取得された6名の皆さん の新たな門出に向けて、城間幹子那覇市長、友利浩同窓会長よりご 祝辞をいただきました。

「各々の場所で、各々が奮闘し、時には迷い・悩み、そして時に学び 直したい時が来ると思います。皆さんが学び続けようとする時、沖縄 大学の門戸は広く開かれています。近い将来、皆さんの奮闘ぶりを語 り合う日が来るのを、教職員一同心待ちにしています。また、まじゅん かたやびら！がんばってください。」最後に島袋学生部長からはなむ けの言葉が贈られました。

2017年度

卒業式・修了式

2017年度は、学生が大層活躍した年度で、私の長い教員生活の中でも思い出に残る年となりました。法経学科の豊川先生と大城先生のゼミ学生が執筆し編集した「沖縄の業界地図2017」は、6千部を売り上げ沖縄関係書籍の中で驚異的ベストセラーになりました。テレビや新聞でも取り上げられました。

学生の活躍

学長
仲地
博

告辭

(抄錄)

沖縄大学の誕生

沖縄大学は学生が元気な大学、入学して伸びる大学であることを皆さんに示したものと言えるでしょう。

学生の自主的団体「国場555プロジェクト」がオープンキャンパス、大学祭を主体的に担いイキイキと活躍しました。

ボーラー部等、目覚ましい活躍をしています。

教員採用試験は現役合格が14名と初めて2けたを超えて、過年度卒業生を含める38人の大量合格となりました。行政書士試験には、3人が現役合格をしました。スポーツ系のクラブも硬式野球部、空手道部、サッ

そのような時代に創設者は沖縄大学に熱い思いを込めました。すなわち沖縄の最大の課題は祖国復帰であるとし、「この課題解決を促進するためにも、沖縄が日本全体の視野の中で、積極的に主張できる存在価値

沖縄大学は、1958年
沖縄最初の私立大学として
嘉数昇先生によつて創設さ
れました。沖縄は日本から
分離され、軍が統治してい
る時代です。

さらに積極的に演じられる役割を発掘し創造しなければならないのだ。その発掘と創造の活動においても沖縄大学は、それこそ名前の「沖縄」を体現し高揚するために、指導的役割を果たすべき大きい責任がある上うに思う」と述べています。今多くの大学が、地域への貢献を理念として掲げますが、沖縄大学は地域の課題を正面から背負う気概を持つた大学として創設されたのです。全国の7割が集中する米軍基地に起因する問題、子どもの貧困率は全國の2倍、全国最下位を争う大学進学率、非正規雇用率は44%で全国一など、課題は時とともに変わつても沖縄大学の理念は変わりません。沖縄大学は、地域の未来を地域の人々と共に創りあげていく大学なのです。

つ目が歴史資料
スを作ります。

を行います。二つ目が学内食堂の開設です。6月11日オープンの予定ですので、どうぞ訪れて親しく先生や後輩との語らいの場にしていただきたいものです。三



2017年度 卒業生・修了生特別表彰者

学長特別賞 宮城 良太 法経学科（知念高校卒）

法経学科の豊川先生と大城先生のゼミ学生による『沖縄の業界地図 2017』を刊行するにあたって特筆すべき働きをした。書籍の編集とデザインの作業を一手に引き受け、多大な時間と労力をかけて書籍を出版可能な形にまとめた。強い責任感と忍耐力をもって他の学生を統率し、取材や内容の校閲にも大きく貢献した。同書はニュースや新聞各紙で取り上げられた他、県内書店において半年間県産本ランキング 1位を獲得するなど大きな反響を呼んだ。



嘉数昇記念賞

前里 桃子

法経学科（南風原高校卒）

1・2年次には、全日本ろう学校懇談会沖縄支部長を務め、県内の中高生・大学生・社会人の交流会を実施。日本聴覚障害学生高等教育部支援ネットワークの「聴覚障害学生支援に関する実践事例コンテスト」では、沖縄大学の新人賞受賞に貢献した。3年次には、派遣大学の法政大学において、手話サークルを新設し、部長として、聴覚障がい支援の拡大・充実に大きく寄与した。

嘉数昇記念賞

又吉 佑紀

福祉文化学科（首里高校卒）

入学時より本学空手部にて活躍、個人種目はもとより団体種目においても各部員をリードし、全国大会へ出場するなど輝かしい成績を収め、本学の社会的名声を高めることに貢献した。

また、高校生への的確な指導で、なかなか昇段できなかつた生徒を昇段試験合格に導き、チャリティーイベントで技を披露するなど試合以外の対外的な活動でも活躍した。

嘉数昇記念賞

硬式野球部

亀川 良太 福祉文化学科（浦添高校卒）

金城 結 法経学科（浦添商業高校卒）

具志堅 大誉 法経学科（興南高校卒）

豊嶋 佑基 法経学科（宜野湾高校卒）

山城 修人 福祉文化学科（具志川商業高校卒）

内間 安音 法経学科（明徳義塾高校卒）

金城 悠太 法経学科（知念高校卒）

小谷 陽大 法経学科（前原高校卒）

山口 栄太郎 法経学科（浦添商業高校卒）

千手 海 福祉文化学科（鞍手高校卒）

九州地区の秋季大会の3連覇など、多くの大会で輝かしい成績を収め、本学の社会的名声を高めることに大きく貢献した。また、学内清掃や台風襲来後の学内・地域の清掃、県内中学校や高校との連携による各種ボランティア活動などにも積極的に励み、チームの目的である「人間成長」を実践すべく、率先してその活動に取り組んできた。



前列左より、仲地博学長、亀川良太、前里桃子、又吉佑紀、嘉数昇明後援会会長

法経学部長賞



すぎもと ゆたか
杉本 雄隆 法経学科（国士館高校卒）

入学以来、学業と両立させながら、国内外の自転車競技のロードレースにおいて「ツール・ド・おきなわ」に招待選手として参加し、ワールドシリーズの「ニセコクラシックレース」では、世界選手権出場権を二年連続獲得するなど目覚ましい成績を収めてきた。

卒業後は、企業に勤務しながら、競技活動を継続する予定で、今後一層の活躍が期待される。

たば
田場 愛佳 法経学科（コザ高校卒）

2016年度のゼミ大会で中心的な役割を果たし、「法経学会誌」に論文を投稿し研究を進めた。卒業論文では、女子学生のワーク・ライフ・バランスと幸福度についてアンケートを実施し、先行研究が女子学生にも当てはまるか分析した。

またバドミントン部では数多くの大会での入賞歴があり、本学の名聲を高めることに貢献した。卒業後大手都市銀行への就職が決まっている。



人文学部長賞



まつもと やよい
松本 弥生 福祉文化学科（知念高校卒）

本学が設置した「児童福祉特別奨学生」の1期生として入学し、「社会福祉士受験資格」と「精神保健福祉士受験資格」のダブル受験を目指している。

学外では県内の養護施設退所後の支援活動を行うNPO活動にリーダーとして参加し、卒論では「児童福祉施設退所後の支援体制について」を取り組んだ。ゼミ活動でもリーダーシップを發揮し、3年次には台湾研修を企画した。

いけはら ひろと
池原 寛人

国際コミュニケーション学科
(泡瀬特別支援学校卒)

彼の挑戦は、「つながりを大切にできる人になること、自分の人生に意味を見つけること、何事にも全力で取り組む姿勢を崩さないこと」。彼は、国際コミュニケーション学会長や、サークルの部長を務め、手が自由にならないにも関わらず手話講座を受講し、一人暮らしを始め、いわゆる障害者という概念を塗り替える存在であり続けた。

あらかき もとい
新垣 基

こども文化学科（那覇高校卒）

成績優秀で、努力を怠らず、他の模範である。卒業論文は「渡嘉敷唯選と丹青協会—『琉球新報』『沖縄毎日新聞』を中心に—」で、明治・大正を生きた画家、渡嘉敷唯選の足跡を丹念に追いつつ、沖縄美術における丹青協会の活動を研究した。本論文は優れたファミリーヒストリーともなっている。

学科の諸活動でも、縁の下の力持ちとしてよく働き、同級生や後輩、そして教員からの信頼も厚かった。

大学院研究科長賞



ひが けいこ
比嘉 恵子

現代沖縄研究科地域経営専攻
(上戸学園女子短期大学卒)

長年養護教諭として不登校生徒への支援に取り組み、実践現場から得た問題意識を学術的に検証し、修士論文にまとめた。学びの主体である生徒の「教育を受ける権利」の視点から「チーム」としての学校と養護教諭の役割に注目し、近年沖縄県で増え続けている不登校児童・生徒の支援のあり方を問い合わせ直す上で、重要な問題提起となっている。今後、後輩への専門職指導や政策提案などに生かされることが期待される。

卒業生答辞（抄録）

卒業生代表
法経学部法経学科

玉城 裕也（名護高校卒）

本日は私たち卒業生のために、このような盛大な式を挙行していただき、誠にありがとうございます。

大学という新たな生活環境に期待と不安を胸に抱きながら沖縄大学に入学したあの日から瞬く間に4年の月日が過ぎ、先生や仲間たちと過ごした充実した日々



が思い返されます。

私事にはなりますが、法律や経済・経営を中心多くの学問を

学びました。2年次にはス

タディツアーカー

を活用し、人

生ではじめてアメリカに行く機会があり、日本とは違う文化を直に肌で感じることができました。同行した友人とタイムズスクエア、自由の女神、ホワイトハウスなどを訪れたことが昨日

のように思い浮かんできま

す。また、エイサー部に所

属し、道じゅねーや学園祭、

他大学と共に催した学生エイサー祭りなどの多数のイベントを行いました。地域の方々や他大学の学生との関りを持つことができ、私にとって貴重な経験となりました。

私がこの4年間の大学生生活を過ごす中で、とても心に響いた言葉があります。松尾芭蕉の「おくのほそ道の序文で出てくる「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり」です。



法経学科より行政書士試験に3名合格！

2017年度の行政書士試験に法経学科3年生1名、4年生2名が合格しました。

3名はいずれも法経学科が学内で開講している行政書士対策講座の受講者でした。

根間 玄実 3年（南風原高校卒）
大城 春樹 4年（中部農林高校卒）

比嘉 祥太 4年（小禄高校卒）

2018年6月 学生食堂 オープン 予定！



小鉢等、定番メニューと週替わりメニューで飽きのこない食事を提供します。料金は、大学と後援会（教職員と学生の保護者が会員です）からの支援により、お財布に優しい安価なメニューを実現します。

皆さんのが健康で快適な学生生活を送れるよう、「食」の面からサポートします。

学食のオープン、間もなくです。
乞うご期待！



学食イメージ

充実した大学生活もいよいよ最後の日を迎え、私はちはそれぞれの道を歩んでいきます。今後の沖縄を担つていく人材として、自らの言動に責任を持つた行動を自覚しなければなりません。この沖縄大学で学び得た知識や経験、この4年間での多くの出会いに感謝しながら努力していく所存です。

私がこの4年間の大学生生活を過ごす中で、とても心に響いた言葉があります。松尾芭蕉の「おくのほそ道の序文で出てくる「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり」です。

（略）

2017年度各種奨学金(報告)

奨学金名	受給者数	出身校(人)
沖縄大学冠奨学金 (36万)	30	知念(3)、糸満(2)、首里東(2)、名護(2)、南風原(2)、読谷(2)、沖縄アカデミー専門学校(1)、浦添(1)、浦添工業(1)、具志川(1)、具志川商業(1)、興南(1)、向陽(1)、中部商業(1)、泊(通信)(1)、那覇(1)、那覇西(1)、普天間(1)、美里(1)、八重山(1)、与勝(1)
沖縄大学学業奨学金 1種(72万)2種(36万) 3種(18万)4種(10万)	57	那覇(6)、沖縄アカデミー専門学校(5)、浦添(3)、具志川(3)、コザ(3)、那覇西(3)、小禄(2)、首里(2)、知念(2)、豊見城南(2)、那覇国際(2)、南風原(2)、普天間(2)、糸満(1)、浦添工業(1)、沖縄工業(1)、沖縄リハビリテーション福祉学院(1)、興南(1)、向陽(1)、宜野座(1)、宜野湾(1)、国立沖縄高等専門学校(1)、松陽(1)、大検(1)、北谷(1)、中部農林(1)、南部農林(1)、北山(1)、前原(1)、美作大学(1)、八重山(1)、与勝(1)、読谷(1)
沖縄大学スポーツ奨学金 1種(72万)2種(36万) 3種(18万)4種(10万)	46	西原(5)、興南(4)、知念(4)、糸満(2)、浦添(2)、浦添商業(2)、嘉手納(2)、宜野湾(2)、豊見城南(2)、与勝(2)、石川(1)、五日市(1)、出水中央(1)、宇美商業(1)、小禄(1)、九州産業大学付属九州(1)、コザ(1)、首里東(1)、中部商業(1)、豊見城(1)、長崎総合科学大学付属(1)、名護(1)、那覇西(1)、前原(1)、美里工業(1)、宮古(1)、明徳義塾(1)、八重山商工(1)、山梨学院大学(1)
沖縄大学後援会支援特別奨学金 (20万)	15	小禄(2)、知念(2)、泡瀬特別支援(1)、浦添(1)、嘉手納(1)、首里東(1)、高田(1)、中部農林(1)、那覇(1)、那覇西(1)、普天間(1)、北山(1)、八重山農林(1)
沖縄大学後援会支援文化活動奨学金 1種(72万)2種(36万)3種(18万)4種(10万)	3	美里(2)、沖縄女子短期大学(1)
平良文太郎奨学金(3万)	1	知念(1)
宮古・八重山地区有志・同窓会奨学金	3	伊良部(1)、宮古(1)、八重山(1)
沖縄大学外国人学生のための授業料の減免 1種(57万6千)2種(36万)	1	中国(1)
沖縄大学推薦入試特別奨学金 (36万)	110	コザ(6)、糸満(5)、知念(5)、那覇商業(5)、真和志(5)、宮古(5)、石川(4)、浦添(4)、小禄(4)、南風原(4)、辺土名(4)、与勝(4)、具志川商業(3)、首里東(3)、豊見城南(3)、南部商業(3)、陽明(3)、浦添工業(2)、浦添商業(2)、沖縄工業(2)、具志川(2)、久米島(2)、泊(午前部)(2)、豊見城(2)、那覇工業(定時制)(2)、那覇西(2)、前原(2)、宮古総合実業(2)、読谷(2)、伊良部(1)、沖縄水産(1)、嘉手納(1)、宜野座(1)、宜野湾(1)、中部商業(1)、中部農林(1)、名護(1)、南部工業(1)、西原(1)、普天間(1)、北山(1)、美里工業(1)、美来工科(1)、八重山農林(1)、八洲学園大学国際(1)
沖縄大学スポーツ支援特別奨学金 1種(72万)2種(36万)3種(18万)4種(10万)	19	小禄(4)、鹿児島城西(2)、嘉手納(2)、熊本商業(2)、福岡工業大学付属城東(2)、前原(2)、浦添(1)、首里(1)、中村学園女子(1)、那覇西(1)、東大阪大学柏原(1)
大学入試センター試験利用 入試授業料减免奨学金 (36万)	19	開邦(3)、那覇(3)、向陽(2)、那覇国際(2)、普天満(2)、糸満(1)、加治木(1)、球陽(1)、具志川(1)、首里(1)、首里東(1)、読谷(1)
沖縄大学児童福祉特別奨学金 (72万)	9	向陽(1)、知念(1)、名護(1)、南部農林(1)、西原(1)、北部農林(1)、美来工科(1)、八重山(1)、八洲学園大学国際(1)
沖縄大学私費留学生のための授業料の減免 1種(57万6千)2種(36万)	21	中国(12)、台湾(4)、ミャンマー(2)、韓国(1)、フィリピン(1)、その他(1)
沖縄大学後援会支援修学奨学金 (上限20万)	22	向陽(3)、知念(3)、浦添(2)、小禄(2)、豊見城(2)、宜野湾(通信)(1)、久米島(1)、高校卒業程度認定試験・大学入学資格検定(1)、コザ(1)、中部商業(1)、名護(1)、那覇国際(1)、那覇商業(1)、普天間(1)、与勝(1)
沖縄大学障がい学生支援奨学金 (10万)	1	那覇商業(1)
沖縄大学教育ローン等利子負担奨学金 (上限5万)	2	興南(1)、与勝(1)
沖縄大学夜間主奨学金 (授業料の25%相当額支給)	14	沖縄アカデミー専門学校(3)、沖縄リハビリテーション福祉学院(2)、青山学院女子短期大学(1)、奄美看護福祉専門学校(1)、宇都宮高等看護専門学校(1)、沖縄大学(1)、沖縄キリスト教短期大学(1)、沖縄国際大学(1)、県立沖縄看護学校(1)、泊(1)、放送大学(1)
二親等以内の親族が同時に在学する際の授業料减免 授業料の25%相当額支給	40	豊見城(4)、小禄(3)、首里(3)、北谷(3)、豊見城南(2)、那覇西(2)、西原(2)、前原(2)、石川(1)、鹿児島(1)、嘉手納(1)、北中城(1)、具志川商業(1)、久米島(1)、興南(1)、コザ(1)、その他(1)、知念(1)、中部農林(1)、那覇(1)、那覇工業(定時制)(1)、那覇商業(1)、南部農林(1)、北部農林(1)、美里(1)、宮古(1)、宮古総合実業(1)

延べ413名

2017年度寄附金報告

(創立60周年記念事業への寄附金を除く)

寄附者	金額(円)
冠奨学金	8,400,000
企業・団体	487,000
個人	180,000
本学関係	10,730,000
合計	19,797,000

2017年4月1日から2018年3月15日までにいただいたご寄附について、
以下のようにご報告いたします。

このご厚意を大切にし、有効に使わせて頂きたいと存じます。
ご寄附いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

(寄附者内訳)

冠奨学金	金額(円)	企業・団体	金額(円)	個人	金額(円)
株式会社琉球銀行 様	1,750,000	同窓会宮古支部 様	80,000	渡口明弘 様	120,000
株式会社沖縄銀行 様	1,750,000	同窓会八重山支部 様	57,000	仲村芳信 様	20,000
株式会社沖縄海邦銀行 様	1,050,000	大和電工株式会社 様	50,000	毛利孝雄 様	10,000
那覇空港ビルディング株式会社 様	700,000	共和産業 様	35,000	海野高志 様	10,000
沖縄電力株式会社 様	700,000	紫電舎 様	35,000	屋富祖繁幸 様	5,000
株式会社沖縄教育出版 様	350,000	石垣空港ターミナル株式会社 様	35,000	備瀬知晶 様	5,000
オリオンビール株式会社 様	350,000	宮古港運株式会社 様	35,000	謝名孝雄 様	5,000
株式会社OCS 様	350,000	八重山港運株式会社 様	35,000	匿名寄附者 様	5,000
仲里 政幸 様	350,000	丸尾建設株式会社 様	35,000		
公益財団法人金秀青少年育成財団 様	350,000	有限会社東洋工業 様	35,000		
沖縄ビル管理株式会社 様	350,000	株式会社八重山自動車学校 様	35,000		
金城 太一 様	350,000	野津武彦 様(野津商事)	10,000		
		沖縄自分史センター株式会社 様	5,000		
		株式会社丸産業 様	5,000		
本学関係	金額(円)				
沖縄大学後援会	9,940,000				
沖縄大学同窓会	740,000				
沖縄大学教職員	50,000				



幸地正博氏と澤田清氏（左から4人目と5人目）を囲んで、学生・同窓生・学内関係者で記念撮影

創立60周年記念 同窓生寄贈学生歌

創立60周年記念として、同窓生より2曲の学生歌を寄贈して頂き、3月7日に贈呈式を行いました。「郷里共創の旗揚げ」の作者澤田清氏は1970年の卒業生。母校に誇りを持て、世界に羽ばたく若い力は光のごとくあります。地域共創の理念が一層具現化されていく素晴らしい沖縄大学に栄えあれという思いを込めて作詞されました。1964年の卒業生幸地正博氏は「永久の輝き」を作詞。沖縄大が永遠に輝いてほしい、そのためには学生が使命感をもつて一生懸命学んでほしいという願いを込められました。

永久の輝き

<p>二 緑の地球に住む人達は この地に根を張り、ずつりと 真理を求めてここに集う 未来の共創に身を挺し マクロの時代に住む人の使命 沖縄大学 永久の輝き</p>	<p>一 平和を求め生きる人達は 過去の歴史に未来を見つめて 真理を求めてここに集う 人類の歴史に名を刻み 緑の地球に住む人の使命 沖縄大学 永久の輝き</p>	<p>三 歴史の波を乗り越えて 我らは自指す人類平和 真理を求め知を愛す 勇気の人のここにあり 沖縄 沖縄 沖縄大学 榮えあれ 荣えあれ 荣えあれ</p>
<p>一 郷里共創の旗揚げ 英知磨きて世のために 尽くす心根いや高き 県都那覇市に聳え立つ 沖縄 沖縄 沖縄大学 誇りあり 誇りあり 誇りあり</p>	<p>二 見よ碧瑠璃の大空を 朝日に飛び立つ若鷺は 世界に羽ばたく俊秀の 若き力を示すなり 沖縄 沖縄 沖縄大学 光あり 光あり 光あり</p>	<p>三 同窓会関係者 ご芳名 金額 根路銘一郎 30,000 屋良朝一 30,000 中村信孝 10,000 金城幸浩 10,000 比嘉栄吉 30,000 池原毅 10,000 廣山博 10,000 東昇正 10,000 東英子 100,000 許田千枝 100,000 長嶺正博 50,000 幸地忠太郎 30,000 新里義人 40,000</p>

沖縄大学創立60周年記念事業資金のための募金活動状況

沖縄大学は2018年6月10日に創立60周年の節目を迎えます。その記念事業として、学生食堂の新設、アクティブ・ラーニングの為の教室やグラウンドの整備を進めており、高等教育を担う学校法人として、後援会、同窓生、一般の皆様、並びに企業、法人様より、随時募金の受付を行っております(5千万円を目指に寄附金を募ります)。本記念事業に係る募金活動は2019年3月までを予定しておりますので、特段のご芳情を賜りますようお願い申し上げます。

2017年12月16日から2018年3月15日までのご寄附企業名 及び ご芳名 (敬称略・順不同)

金額単位:円

■企業・法人・団体		■同窓会関係者		■一般篤志家	
ご芳名	金額	ご芳名	金額	ご芳名	金額
株琉球リース	代表取締役社長	沖縄大学同窓会	100,000	根路銘一郎	30,000
高良 幸明	100,000	経八会(沖縄大学同窓生)	50,000	仲村渠哲勝	100,000
株琉球銀行	取締役頭取	沖縄大学職員互助会	100,000	大森潤之介	5,000
川上 康	1,250,000				
株琉信ハウジング	代表取締役社長				
比嘉 正彦	100,000				
りゅうぎん保証㈱	代表取締役社長				
上原 智	100,000				
りゅうぎんビジネスサービス㈱	代表取締役社長				
石新 真	100,000				
㈱りゅうぎんディーシー	代表取締役社長				
宮城 竹寅	100,000				
㈱OCS	代表取締役社長				
林 秀寛	100,000				
㈱りゅうぎん総合研究所	代表取締役社長				
照屋 保	100,000				
■後援会(在学生の保護者等)		■本学教職員・学生		■本学教職員・学生	
ご芳名	金額	ご芳名	金額	ご芳名	金額
洲 錬	100,000	田 中 正博	10,000	上 地 幸市	100,000
沖縄ハム	総合食品㈱	安 里 善光	10,000	上 門 清春	20,000
比嘉 隆夫	100,000	東 太田 正一	10,000	佐 喜 真 實	190,000
沖縄ハム	総合食品㈱	岡 村 勝則	5,000		
りゅうぎん保証㈱	代表取締役社長	匿名希望者(3名)	25,000		
上 原 智	100,000				
沖縄協栄産業㈱	代表取締役社長				
石 新 真	100,000				
DIRECT CHINA㈱	代表取締役				
宮 城 利実	100,000				
方 徳輝	60,000				
e-no㈱	代表取締役社長				
川 畑 信介	50,000				
瑞泉酒造㈱	代表取締役社長				
佐 久 本 学	30,000				

総額 16,720,400円

総額については、2017年4月3日からの積算募金額です。



卒業式を終えた週末。
群青の空の下、蓄はじける久米桜の白い花弁。
閉式の辞の「各々の場所
で、各々が奮闘し、学び直したい時が来る」その
日まで。
(後藤)

編集後記

沖縄県唯一となる管理栄養士養成課程の設置に向かって、2018年3月に文科省へ設置認可申請を行いました。2019年4月に開設予定です。また、校舎も新設し、実習や実験がスムーズに行えるように施設や設備の整備を行います。

健康栄養学科
(設置認可申請中)